

「生きた、描いた、語らった。生誕100年 坂本直行の軌跡」展を札幌大学にて開催

札幌大学博物館学芸員資格取得特別課程

札幌大学博物館学芸員資格取得特別課程は、今年生誕100年を迎えた「孤高の山岳画家」、
「反骨の農民画家」と評され、六花亭の包装紙の絵柄としてひろく愛されている坂本直行の企
画展を開催します。

この企画展は、坂本家、中札内美術村、歩々の会、高知県立坂本龍馬記念館等の協力を得て、
坂本直行の辿った生涯を紹介するとともに、残された作品の数々を図書館と埋蔵文化財展示室
にて展示します。図書館では坂本直行の札幌二中（現・札幌西高）、あるいは北大の学生時代、
そして十勝入植の時代、画業を職とした時代など、経歴を紹介するための年表・写真・著書な
どを展示します。また、埋蔵文化財展示室では実際の貴重な作品約30点の展示と彼の人柄に
関する関係者の談話や記録などをパネルによって紹介します。

「生きた、描いた、語らった。生誕100年坂本直行の軌跡」

日時：平成18年12月9日（土）～17日（日）

10：00～18：00（ただし、日曜日は図書館のみ17：00まで）

会場：札幌大学図書館 1階ロビー

札幌大学埋蔵文化財展示室

入場：無料

協力：坂本家、中札内美術村、歩々の会、高知県立坂本龍馬記念館等

問合せ：札幌大学埋蔵文化財展示室 電話011-852-9182

【坂本直行 略歴】

「孤高の山岳画家」、「反骨の農民画家」と評され、六花亭の包装紙の絵柄としてひろく愛されている。

- 1906年 父・坂本弥太郎の次男として釧路に生まれる。
- 1919年 札幌二中（現・札幌西高）に入学。本格的にスケッチを始める。
- 1924年 北海道大学農学部に入學。北海道大学山岳部創部とともに入部、道内の山々を登る。
- 1930年 十勝（現・広尾町）の野崎健之助の誘いで野崎牧場にて牧畜。
- 1936年 広尾町下野塚に開拓者として入植。開拓者の傍ら日高の山々と植物を描き続ける。
- 1960年 農業をやめ、開拓地を離れ、豊似市街に移住し、画業に専念。
- 1974年 北海道文化賞を受賞。
- 1982年 75歳で没。